

11/21(月)の報道発表

報道発表資料の配付日時 令和4年11月21日(月) 16時00分

<p>発表項目</p>	<p>札幌医科大学新キャンパス『広場』の愛称を「らてす」に決定しました</p>
<p>概要</p>	<p>札幌医科大学では、新キャンパス落成を節目に、地域の方々からより親しみを感じていただき、かつ、本学の学生、教職員、卒業生等に愛着と誇りを感じていただけるような新キャンパスの『広場』となるように、札幌医科大学初の試みとして、北海道在住の方を対象に愛称を公募しており、広報委員会による厳選なる審査の結果、<u>愛称として採用する優秀賞作品1点と準優秀賞作品2点を決定しましたこと</u>をお知らせいたします。</p> <p>なお、<u>11月29日(火)18時より学内において新キャンパス『広場』愛称の表彰式</u>を執り行い、受賞者に対する表彰状と記念品の贈呈を行う予定です。詳細は、添付資料をご覧ください。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 愛称の概要</p> <p>(1) 愛称 らてす ※優秀賞の「Rates」は、英語発音の「Rates」と誤認される可能性があるため、平仮名表記での「らてす」に変更（広報委員会決定）</p> <p>(2) 愛称の理由・込めた想い この愛称は、医学の父「ヒポクラテス」の名前から引用し、「らてす」と命名いただきました。「らてす」という音の響きが、建物の前面に設けられた屋根のない台状の場所を指す「テラス」に似ており、利用者になじみやすいということ、「らてす」を逆読みすると「ステラ」になり、「ステラ」が星を表し、北海道のマークが七稜星であることから、「道民の健康の維持・増進に貢献し、道民の誇りとなる大学であり続ける」という想いが愛称に込められております。</p> <p>2. 受賞者</p> <p>(1) 優秀賞（採用作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武山 ルミ 様（札幌市在住）「 Rates 」(らてす) <p>(2) 準優秀賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本 聡 様（札幌市在住）「 SAPO + TO 」(サポット) ・枝 将義 様（上川郡剣淵町在住）「 Polaris garden 」(ポラリスガーデン) </div> <p>【大学公式ホームページ：写真ニュース】 http://web.sapmed.ac.jp/jp/news/photo/uip2022/nickname.html</p>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>貴紙面、WEB等の報道、取材等をお願い申し上げます。</p>
<p>本件に関する問い合わせ先</p>	<p>札幌医科大学事務局経営企画課企画広報係 担当：佐々木、杉原 TEL：011-611-2111（内線21640、21610） Eメール：kikakukouhou@sapmed.ac.jp</p>



札幌医科大学新キャンパス『広場』の愛称決定について

札幌医科大学では、新キャンパス落成を節目に、地域の方々からより親しみを感じていただき、かつ、本学の学生、教職員、卒業生等に愛着と誇りを感じていただけるような新キャンパスの『広場』となるように、札幌医科大学初の試みとして、北海道在住の方を対象に愛称を公募し、広報委員会による厳選なる審査を経て、このたび愛称を「らてす」に決定しました。

大学と附属病院を繋ぐエリアに位置する新キャンパスの『広場』は、ライラックに似た白色の花を咲かせる「ハシドイ」と、濃い桃色の花が優美な北海道の代表的な桜である「エゾヤマザクラ」を植栽しており、芽吹き、新緑、紅葉と季節感豊かで、大学と附属病院の多様なアクティビティを受け入れる憩いの共通空間となります。

今後は、愛称「らてす」を幅広く活用し、皆様から親しまれる広場となるように、さらには、愛称に込められた想いである「道民の健康の維持・増進に貢献し、道民の誇りとなる札幌医科大学であり続ける」ために、地域とともに歩んで参ります。

ご応募いただきました皆様、素晴らしい作品を誠にありがとうございました。

1. 愛称の概要

(1) 愛称

らてす

※優秀賞の「Rates」は、英語発音の「Rates」と誤認される可能性があるため、平仮名表記での「らてす」に変更(広報委員会決定)

(2) 愛称の理由・込めた想い

この愛称は、医学の父「ヒポクラテス」の名前から引用し、「らてす」と命名いただきました。

「らてす」という音の響きが、建物の前面に設けられた屋根のない台状の場所を指す「テラス」に似ており、利用者になじみやすいということ、「らてす」を逆読みすると「ステラ」になり、「ステラ」が星を表し、北海道のマークが七稜星であることから、「道民の健康の維持・増進に貢献し、道民の誇りとなる大学であり続ける」という想いが愛称に込められております。



2. 受賞者

(1) 優秀賞(採用作品)

武山 ルミ(たけやま るみ)様(札幌市在住)「Rates」(らてす)

(2) 準優秀賞

山本 聡(やまもと そう)様(札幌市在住)「SAPO + TO」(サポート)

枝 将義(えだ まさよし)様(上川郡剣淵町在住)「Polaris garden」(ポラリスガーデン)

3. 表彰式

日時：令和4年11月29日(火)18時から

場所：札幌医科大学保健医療学研究棟1階 E129

内容：受賞者への表彰状と記念品贈呈

4. 募集の概要

- (1) 募集期間 令和4年9月15日(木)～10月5日(水)
- (2) 応募方法 特設サイト(新キャンパス『広場』の愛称を募集します)の専用WEBフォームにて必要事項を記入のうえ、応募。応募専用WEBフォームによる応募が困難な場合は、応募申込書に必要事項を記入のうえ、郵送。
- (3) 応募総数 244件

5. 選考概要

愛称の審査・選考は、募集要項に基づき、広報委員会において、「札幌医科大学の特色や個性をイメージできる、誰もが読みやすく、地域の方々からより親しみを感じていただき、かつ、本学の学生、教職員、卒業生等が愛着と誇りを感じるような作品」を選考基準として、9月15日から10月5日までに応募いただいた244作品の中から、要件を満たしたものについて、1次選考、2次選考を実施し、商標調査を経て、広報委員会による最終選考を行い、愛称として採用する優秀賞作品1点と準優秀賞作品2点を決定し、令和4年11月19日開催の新キャンパス落成記念式典において発表いたしました。

なお、一次選考と二次選考には、今年度新たに広報委員会のもとに結成された教員と事務職員で構成する「大学広報プロジェクトタスクフォース」の8名と医学部と保健医療学部の学生で構成する「大学広報 Student Ambassador」の8名を審査員に加え、今後を担う若手の教職員と学生の意見を取り入れながら選考を進めました。

【札幌医科大学大学広報委員会】

山下 敏彦	理事長、学長
近江 秀彦	理事(財務担当:財務、情報公開等)
齋藤 豪	理事(教育研究担当:教育、学術研究、学生支援、国際交流、評価、産学・地域連携)、医学部長
片寄 正樹	理事(教育研究担当:教育、学術研究、学生支援、国際交流、評価)、保健医療学部長
佐々木 泰史	医療人育成センター長
土橋 和文	理事(附属病院担当:診療、地域医療)、附属病院長
大西 浩文	附属総合情報センター長
今田 和	事務局長

【大学広報プロジェクトタスクフォース】

樋室 伸顕	医学部基礎医学部門公衆衛生学講座 講師
小山 雅之	医学部基礎医学部門公衆衛生学講座 助教
清水 淳也	医学部臨床医学部門 整形外科学講座 助教
西田 幸代	医学部臨床医学部門病院管理学 助教
中村 充雄	保健医療学部作業療法学科作業療法学第一講座 准教授
高塚 伸太郎	医療人育成センター教養教育研究部門物理学 講師
有木 茂	医療人育成センター教養教育研究部門化学 准教授
田中 美咲	事務局学務課学務・学生支援係 主事

【大学広報 Student Ambassador】

井上 朱音	医学部医学科3学年
西園 敏文	医学部医学科3学年
佐藤 瑞矩	医学部医学科2学年
佐藤 優香	医学部医学科2学年
佐々木 祐歩	保健医療学部看護学科2学年
中島 惟歩樹	保健医療学部看護学科2学年
関口 慶大	保健医療学部理学療法学科3学年
田辺 千紘	保健医療学部作業療法学科2学年

札幌医科大学新キャンパス広場

愛称「らてす」

【愛称の理由・込められた想い】

この愛称は、医学の父「ヒポクラテス」の名前から引用し、「らてす」と命名いただきました。「らてす」という音の響きが、建物の前面に設けられた屋根のない台状の場所を指す「テラス」に似ており、利用者になじみやすいということ、「らてす」を逆読みすると「ステラ」になり、「ステラ」が星を表し、北海道のマークが七稜星であることから、「道民の健康の維持・増進に貢献し、道民の誇りとなる大学であり続ける」という想いが愛称に込められております。

[考案者：武山 ルミ様(札幌市在住) 優秀賞(採用作品)受賞]

札幌医科大学では、新キャンパス落成を節目に、地域の方々からより親しみを感じていただき、かつ、本学の学生、教職員、卒業生等に愛着と誇りを感じていただけるような新キャンパスの『広場』となるように、札幌医科大学初の試みとして、北海道在住の方を対象に愛称を公募し、令和4年9月15日から10月5日までのわずか3週間で244件の応募をいただきました。ご応募いただきました皆様、素晴らしい作品を誠にありがとうございました。

このたび、広報委員会による厳選なる審査を経て、愛称を「らてす」に決定しました。

大学と附属病院を繋ぐエリアに位置する新キャンパスの『広場』は、ライラックに似た白色の花を咲かせる「ハシドイ」と、濃い桃色の花が優美な北海道の代表的な桜である「エゾヤマザクラ」を植栽しており、芽吹き、新緑、紅葉と季節感豊かで、大学と附属病院の多様なアクティビティを受け入れる憩いの共通空間となります。

今後は、愛称「らてす」を幅広く活用し、皆様から親しまれる広場となるように、さらには、愛称に込められた想いである「道民の健康の維持・増進に貢献し、道民の誇りとなる札幌医科大学であり続ける」ために、地域とともに歩んで参ります。